

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社やわらぎ	代表者	寺川勲雄	法人・事業所の特徴	・有限会社やわらぎとして、松山市、東温市にグループホームを4事業、小規模多機能型居宅介護事業を2事業、介護保険外サービスとして、市内に高齢者向けの賃貸住宅の運営を行っている。・小規模多機能型居宅介護やわらぎいくし村は同一敷地内にグループホーム、高齢者向け賃貸住宅が併設となっている。内科、循環器内科専門の病院(別法人)も併設されている。サービスの内容としては、通い、訪問、宿泊のサービスを個々の利用者の生活環境、身体状況等を踏まえて、必要なサービスを柔軟に組み合わせる介護計画を作成し実践を重ねている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護やわらぎいくし村	管理者	田村富美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	3人	人	1人	1人	4人	人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> ・課題と改善計画の内容が対応していない。 ・サービス評価に対して、真摯に対応している姿勢が見受けられるが初年度と言う事もあり、取りかかりに遅れが見られた為、来年度は早期に 年間の計画を作成することが望まれる。 ・誤字、脱字が多いため再度、内容を読み返し、修正して欲しい。 ・小規模多機能型居宅介護の特性を活かして「短時間でも帰宅したい」と言う事に対しての改善計画が、ふんわりした表現になっている。 ・できていない点で職員間で情報を共有することに対しての改善内容も具体的でないので、もっと具体的に。 ・評価項目によっては同じようになっている。日本は家族が介護を担っているが、スウェーデン等は国が支えている。介護のために仕事を辞めざる得ない人もいる。利用者の方には家族のことを思ってシェアハウスのような所をやりわり説得して入居してもらい、家族の負担を少なくする。 ・身体拘束をしているのにしていないと評価しているのは、どうしてしない方向で考えていると入れているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・28年度は外部評価の日程は取りかかりがスムーズに行くよう年度当初に計画を立てる。 ・事業所の改善計画の内容をより具体的に修正をする。(評価し易い内容にまとめる。) ・再度、課題と改善計画の内容に対応できているかについて見直し、修正する。

<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・玄関先にご意見箱が設置してあり、いいと思う。 ・夏場は玄関が網戸になっており、入りやすい。（中の雰囲気分かるため。） ・1階がどのようになっているか分かりにくい。 ・事業所の雰囲気分かる部分もある。 ・玄関のドアは半透明の方がいいのではないかと、プライバシーへの配慮で外から見えるのは嫌でしょう。 ・玄関先にある意見箱の中身を共有する意味でも公表してはどうか。 スーパーなどで掲示してあるように。 閉鎖的な感じにしない ・建物内の天井の梁の掃除等は大変だろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の中や、必要に応じて、事業所の建物内を案内し、設備等の用途も説明する。 ・事業所の活動報告は写真、文書で行ってみる。 ・玄関ドアはすりガラスから透明ガラスにかえる。外からも中からも、見え易くする。（プライバシーに配慮できる範囲で） ・意見箱の中身については運営推進会議で報告してきているので、今後も続けるようにする。
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>			<p>事業所の方も地域へ相談して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に地域の方がたくさん参加して下さったり、夏祭りには地域の方が参加されている。 ・運営推進会議に地域住民の方が積極的に関わっている印象を受けた。 ・地域の行事には利用者個人でなく、事業所として参加したらいいと思う。 ・市民大清掃にも地域として参加できている。 ・町費もたくさん払っているのだから、事業所で参加したらいいと思う。 ・神経質にならず、自然体で事業所で参加したらいいのでは。近所の方が運営推進会議に参加できているのが良い。はじめから見ると良くなっているのでゆっくりと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の行事に参加したり、地域の方が、気軽に事業所へ立ち寄って頂ける様、事業所から、町内に向けて、定期的に便りとして発信し、事業所の運営、サービスの内容を具体的に示し、関心や理解を深めて頂く。（事例として日常のエピソードを盛り込みながら、情報発信する。） ・地域の方から、直接、意見を頂き、多数参加して頂けるような、行事の企画、内容にする。 ・日々の挨拶、事業所周辺の掃除、回覧板を回す際も特定の職員だけでなく、事業所全体で、関わりをもつ。
<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に地域の方がたくさん参加して下さっている。 ・町内会の会議には参加しているかどうか分からない。 ・利用者が地域の行事に参加する取り組みはいいと思う。 ・認知症の方のサポートして、松山市、市社協が行っているものに事業所が登録し、立ち寄れる場所を提供する。事業所のアピールにもなる。ステッカーなどあるので、それを事業所に貼るだけでも違う。認知症で徘徊する方をみつけることもある。 ・事業所の行事で十分対応して頂いている。本人の体調もあるし、精神的なバランスもあり、家族としてうまくいかないこともある。 ・CもDの項目も地域との関わりのことなので一番大事と思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事は事業所の管理者が主に参加しているに止まっているので、利用者の方が参加して頂く為にはどのようにすればいいか、ご家族、地域に相談をし、協力して頂ける体制を整える。 ・事業所から、運営推進会議や発信物等で相談ごとの対応も行っていることや、地域の自治会長、民生委員の方、地域の協力者を介して、地域の高齢者について情報を得る。

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の今の現状を地域に伝えたり、地域の意見（改善点）を聞かせてもらっている。 ・民生委員さんが地域の心配な方の話を運営推進会議でして下さったことがあった。 ・グループホームと小規模多機能型居宅介護事業所が側にあるため、違いが伝わっていないのではないか。 ・運営推進会議に地域の方の参加が多い。他の同じサービスを行っている事業所ではあるが、地域の方の参加は民生委員の方くらいに止まっている。勉強会などをもっと行う。例えば認知症や防災について等。月1回の喫茶を開いているが、地域の方が参加してもらえるように声を掛けたいと思っている。 ・地域かかわりシートは記入しにくかった。運営推進会議で事業所の活動報告を受けても分からない。 ・地域の方がたくさん参加されているので会議になっている事がいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の年間計画を立て、内容についても、ご家族、地域の方の意見を聴きながら、事業所と地域の情報交換、勉強会等、互いに学べる機会を更に増やす。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所は頼りになるより、地域を頼りにして欲しい。 ・災害時にはスタッフは当然、全力で救助に当たるだろうが、とても人力が足りないので、公とボランティアの援助が必要と思われる。 ・地域の防災訓練にも参加できているのはいい事。 ・職員が防災士の取得を行うと地域と協働した防災の取り組みを行う足がかりとなるのではないか。 ・有事の際、「ちょっと待って下さい」ではどうだろうか。先日、併設の賃貸住居で入居者の方が、トイレで倒れ、いくし村に連絡したら、電話に出た職員の最初の言葉で苛々したし、どうかと思う。直ぐに来れないまでも「救急車を要請します」とか「直ぐに行きます」といって欲しかった。入居者同士の連携があったから対応できた。 ・防災士の資格をとってもあまり役に立たないのではないか。何が違うのか。 ・事業所で防災士の資格をとると防災のノウハウ、知識が高まる。法人格でとる。一人10万円の費用が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の防災マニュアルを地域の方に説明する機会を作り、地域の方に何を担っていただくことができるか共に考えていただき、有事の際に協力を得る体制づくりをする。 ・防災訓練ではより具体的に地域の方が、訓練の内容を周知して即座に自ら動ける体制が取れるよう、内容周知の為の準備に必要なものを共に考え、防災訓練の回数を増やす。 ・防災士の資格取得については、更に事業所、法人で検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成27年11月18日(10:00～12:45)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	・管理者 ・介護支援専門員 ・介護職員 常勤4人(内1名夜勤専従) 非常勤5人(内1名は夜勤専従) 計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		7人	1人	2人	10人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		9人	2人		11人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?		7人	3人	1人	11人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		5人	6人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②・ケアマネ、管理者は利用開始前の面談で主訴になることをできるだけ時間をかけてサービスのニーズの見極めに努めている。職員間ではミーティング、書面での周知を行い、利用開始してからも関わりの中から情報収集を行い記録している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
③④夜勤専従職員の配置では家族とのコミュニケーションを取る機会が少ない、また新人職員は利用者やご家族への接し方、配慮すべきことも分からないことも多い。日々の業務でも引継ぎがうまく伝わりきれていないこともあり、迷惑や混乱を招く事もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①②職員間で再度、情報の周知漏れがない為にどのような方法が良いかを話し合う。夜勤専従の職員へは管理者や介護支援専門員が個別に周知をする。 ③④新人職員も含め、職員間で利用者、家族の初期支援に必要な対応や気配りなど精神的な支援についても周知の方法を再度検討する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年11月18日(10:00 ~ 12:45)

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー
・管理者 ・介護支援専門員
・介護職員 常勤4人(内1名夜勤専従)
非常勤5人(内1名は夜勤専従) 計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		4人	5人	2人	11人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6人	4人	1人	11人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		1人	8人	1人	10人
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		6人	2人	2人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
③本人の意向をできるだけ、汲み取り、対応する努力をしている。本人にとっては、なかなか満足になるものにならないこともある。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①新人スタッフや夜勤専従のスタッフについてはケアプラン、その他、アセスメントについても書面での申し送り、周知できているかも確認できていない。 ②家族と本人の意向が違い、どうしても家族の意向が優先されてしまう。連泊利用の方は自宅へ帰りたい意向は実現できないことが多く、課題が解消できていない。 ④ミーティングに参加できないスタッフは議事録で把握するが、理解や受け止め方も違う場合もあり、確実に伝わりきれず、サービスにばらつきが出てしまう。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①新人職員や夜勤専従の職員に対しては個別に周知を行う。 ②サービスのあり様について家族と過ごす時間が持てないか、できないと決めつけず、本人の気持ちや意向を汲み取り、可能性を再度、検討する機会を持つ。(本人の意向に添ったプランの見直し) ④参加できないスタッフは議事録で周知しているが、ミーティングに参加できないにかかわらず、議事録は全職員が周知しサインをすることで、ケアの統一に繋げる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年11月18日(10:00 ~ 12:45)

3. 日常生活の支援

メンバー ・管理者 ・介護支援専門員
 ・介護職員 常勤4人(内1名夜勤専従)
 非常勤5人(内1名は夜勤専従) 計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1人	2人	4人	4人	11人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		10人	1人		11人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5人	4人	2人	11人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		8人	3人		11人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?		10人	1人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①本人からの聴き取りもあるが、家族より、直接聴き取った内容に加えて情報収集の様式を準備し記入形式で行っている。 ②本人の身体状況や生活のスタイルにできるだけ合わせて、ケアを心がけている。ゆったりと関わられている。 ③全職員で個別のモニタリングが行えるよう、予め、プランの実施状況、気づき、今後の対応を記入する書面の準備、活用ができていますので、利用者の反応、表情、姿など気づきが報告できている。 ④⑤本人の意向については個別の相談があった時、内容によることもあるが共有して対応、改善に努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①情報収集してことが、収集だけに留まっていることもあり、プランや、支援に十分生かされていないこともある。支援が統一してできない。その日によって支援の内容が途切れてしまう。 ③スタッフ会に参加できていない職員の意見が少なくなってしまう。 ④⑤直接、申し送りを受けていない職員は記録で周知することになるが、把握出来ていないこともあり、本人の意向に反した対応になってしまうこともある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①③④⑤本人、日々の状況や家族などから得た情報も含めてアセスメントの中身について定期的に見直し、必要な支援が途切れない為の方法をより具体的に。月1回のモニタリングの機会では必要な支援が確実にできているかを確認。できていない場合は原因と対応をその都度決める。利用者の心身の変化や、家族の心配事の情報や職員による気づきなど、把握していながら対応の遅れが生じた場合の原因や改善のための方法は記録や周知の体制も含めて検討する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年11月18日(10:00 ~ 12:45)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー ・管理者 ・介護支援専門員
・介護職員 常勤4人(内1名夜勤専従)
非常勤5人(内1名は夜勤専従) 計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3人	7人	1人	11人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れぬように支援していますか?		6人	3人	2人	11人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1人	5人	3人	2人	11人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2人	5人	4人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①本人、家族、以前利用していた介護サービス事業所からの情報提供などから、情報を得よう努めている。 ②個別に可能な範囲で行うようにしている。特に、地域の方などは散歩の機会に出会うこともあり、個人情報の配慮もしながら、家族に報告もしながら、事業所を介して繋げるようにしている。事業所の場を利用して、本人と会える機会を増やすよう努めている。 ③地域のことや、専門的なことを自治会長さんや民生委員さんに相談して協力して頂くこともある。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①②地域との関係が途切れた形で事業所の利用が始る方については殆ど、以前の暮らしの継続ができていないことも多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
②プラン作成時にカンファレンスの検討事項の中に以前の暮らしを本人の立場に立って、繋がりがもてる可能性がないか、盛り込んでいく。本人、家族、事業所、地域など実現できる内容を検討する。運営推進会議なども現況報告をする時にも個別の内容にも触れ、意見をもらう。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年11月18日(10:00～12:45)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー ・管理者 ・介護支援専門員
 ・介護職員 常勤4人(内1名夜勤専従)
 非常勤5人(内1名は夜勤専従) 計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1人	4人	4人	2人	11人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		9人		2人	11人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1人	9人		1人	11人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		8人	2人	1人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①行事などには地域の方の参加や協力が得られている。(夏祭り、避難訓練、喫茶開催、餅つき、いも炊き会など。)特に、二月に1回の運営推進会議には自治会長さん、民生委員さん、ご近所の方がほぼ、毎回参加して意見を頂いている。地域に出て、顔を合わせると、声をかけて下さる。民生委員さんや自治会長さんは町内の行事の案内や安否の確認も含めて、困り事などないか、月1回は立ち寄って様子を聞いて下さる。 ②ほぼ、希望に添えている。事業所の体制上で意向通りに対応できないことは本人、ご家族の了承を得ている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①日常的な関わりが少ない。事業所から地域への少し情報発信ができておらず、相互の理解や協力が繋がっていない。 ②本人と家族の意向が異なる時、家族の意向が優先されがちになることが多い。他の資源を活用した柔軟な支援ができておらず、家族、事業所が主になっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①サービスの内容も含めて日常の様子を通信や便りなどの発信を定期的に行う。地域の寄り合い場になるような取り組みを考える。(地域の行事に事業所を使用していただくなど)地域の方と一歩踏み込んだ関係づくりを進める。(地域の方がお客さんの協力的な協力者ではなく、共に事業所の運営に携わっていただく視点に変える。)②本人と家族の意向が異なる場合、家族の意向が優先されがちになる傾向にあるが、家族との日々のコミュニケーションで信頼関係を築くことに努め、本人の意向の添えるようなことはないか、家族と見直しができるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年11月18日(10:00～12:45)

6. 連携・協働

メンバー ・管理者 ・介護支援専門員
 ・介護職員 常勤4人(内1名夜勤専従)
 非常勤5人(内1名は夜勤専従) 計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1人	3人	2人	3人	9人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2人	3人	5人	10人
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		5人	1人	5人	11人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1人	5人	4人	1人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②サービス担当者会などは会議の出席をお願いしたり、参加出来ない時も事前に各専門の意見を聴くようにしている。 ③参加できる機会と参加する職員が限られているが、特に管理者を中心に参加している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①医療機関によっては関係性が十分にとれていないこともあると思うが、聴き辛いと言う意識もあり、個別に会議の参加が、叶っていない。 ③利用者の参加がなかなかできていない。家族の協力も得られていない。④年に1～2回のイベント参加されることもあるが、日常的な関わりに繋がっていない。繋がっていたものも途切れてしまっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①医療機関には事前、または会議の後も含めて本人の理解者、協力者の視点で関わる。地域医療連携室などの窓口の活用も積極的に行う。 ③事業所のみでの対応では困難で参加する機会が減るので発信物などでの呼びかけも同時に行いながら、家族や、地域、ボランティアの協力体制に繋げ、事業所に対する理解や関係を築いていく。事業所が地域の高齢者や子どもなど、行事への参加や気軽な立ち寄り場所としての役割を担っていけるために必要な場作りや情報の発信などについて、自治会長さん、民生委員さん、地域の方に運営推進会議の場などを活用して具体的にどのように進めていけば良いか共に考えてもらう。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年11月18日(10:00 ~ 12:45)

7. 運営

メンバー ・管理者 ・介護支援専門員
・介護職員 常勤4人(内1名夜勤専従)
非常勤5人(内1名は夜勤専従) 計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	2人	3人	3人	3人	11人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6人	2人	2人	10人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		5人	2人	3人	10人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1人	2人	3人	5人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①月1回のスタッフ会に法人の代表も参加の機会が増えたり、個別に職員の自己評価をしてもらいながら、面談も行った たりしている。 ②改善できることから行うに努めている。お互いが協力者として意見が自由に言い合える雰囲気を大切にしている。法人 内の経営企画会議では代表、役員、各事業所からの責任者が構成員で報告や、意見を出し、運営に反映するように努めて いる。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①小規模多機能型居宅介護サービスのあり様は何だと悩むことはあるが、目の前のサービスの対応に追われてしまうにと どまっている。 ④地域への情報発信が行事の案内以外は途絶えている。特定の人に限られている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①計画的に研修も含めて学びや振り返りの機会をつくる。 ④通信や便りなど情報発信、法人のホームページなども有効に活用する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年11月18日(10:00～12:45)

8. 質を向上するための取組み

メンバー ・管理者 ・介護支援専門員
 ・介護職員 常勤4人(内1名夜勤専従)
 非常勤5人(内1名は夜勤専従) 計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1人	7人		3人	11人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	2人	5人	3人	11人
③ 地域連絡会に参加していますか		1人	3人	7人	11人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか		3人	4人	4人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①法人内の研修の機会を増やした。内容も介護の専門性を高めるものと、職場環境に関するもの実施、今年度からは、身体拘束と虐待防止の研修委員の配置をし、研修を行っている。(外部の講師を招いて年5回) ④職場の有害性、危険性については日々の気づきで即、改善できることも含めて、職場環境の整備を、就業規則の見直しなども含め行っている。就業時間も基本は残業なしで実施できている。また、今年度は外部のコンサルタントを活用し、研修プログラムに添って環境改善にも努めている。(1年間の予定)	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
②認知症の理解が不足している(研修の参加ができていない。自己研鑽に努めていない。どのように学んで良いわからない職員もいる。) ③参加する機会が少ない。シフトの体制で参加が困難なことも多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①法人内の研修は今後も内容を工夫しながら、継続し行っていく。また、外部の研修に出る機会を計画的につくる。 ②認知症についての学びの方法も含めて研修の機会を増やす。 ④より良い職場環境づくりは個別の職員の意見や気づきが反映されるよう、自己評価や個別面談を行い、法人全体の仕組み作りに繋げる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年11月18日(10:00～12:45)

9. 人権・プライバシー

メンバー ・管理者 ・介護支援専門員
・介護職員 常勤4人(内1名夜勤専従)
非常勤5人(内1名は夜勤専従) 計11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	5人	5人	1人		11人
② 虐待は行われていない	7人	4人			11人
③ プライバシーが守られている	3人	5人	3人		11人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している		1人	1人	5人	7人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	5人	5人	1人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①止む得ない状況で身体拘束を行っているが、毎月、家族と話し合い期間を決め、同意書をもらいながら漫然とした対応にならないようにモニタリングを行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①身体拘束については止む得ない状況で行っている。 ②危険が伴う場合に制止したことが、本人は虐待と捉えられていて、特定の職員とのコミュニケーションが改善できていない。 ③申し送りなどの声が大きくて、配慮が足りないことがある。排泄の有無の声掛けや確認なども周りへの配慮が不足していることもある。 ④制度そのものを知らない。直接関わっていないと分からない。現在、活用する対象者がいない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
②コミュニケーションが比較的、良好な職員がケアに同行して少しずつ距離を縮める。職員のストレスにもなり兼ねないのでカンファレンスも含めて、日常的に報告、相談できる職員間の環境をつくる。面談、研修、自己評価など。 ④研修を受ける機会をつくり、共通認識がもてるようにする。必要に応じて制度の活用に対応できるようにする。	